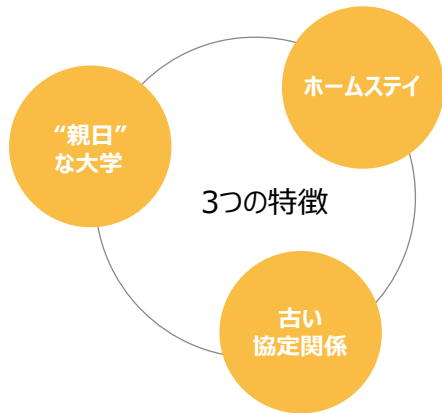


特色・魅力



学生数3万人以上の大規模大学で、1万人以上という留学生数はアメリカ随一。約120の様々な国・地域からの学生が在籍しています。図書館は世界でも最大級。

「日本人が比較的少ない」ということで選ぶ学生も多く、サークルや地域のアクティビティに積極的に参加すれば現地の友人の輪が大きく広がります。一方で、イリノイ大学からは、短期や長期で日本語を学習する学生が毎年甲南大学に来日。留学前に親しくなって現地で再会したり、帰国後に交流する学生もいます。帰国時期も就活に合わせやすい。

(就活スケジュールはキャリアセンターで要確認)

【ホームステイ】

4ヶ月は、長すぎず短すぎない期間。土地柄、**教育従事者が多いホストファミリー**との生活には、語学力実践のチャンスだけでなく、様々な文化交流・新しい発見があります。

アメリカ・イリノイ州

イリノイ大学

アーバナ・シャンペーン校

The University of Illinois

奨励



シカゴから車で約2時間半の、コーン畑に囲まれたのどかな街にある。シカゴ旅行、周辺観光地への小旅行への参加も可能。

大学内に劇場やスケートリンク、ホテルなど多数の施設があるのも魅力で、地域の住民も利用に訪れる。



費用について

総額概算：約175万円

* \$1=120円で計算

内訳	
授業料	約60万円
住宅関連費用	約44万円
往復渡航費	約34万円
海外旅行保険	約8万円
雑費	約29万円

ホームステイには1日2食が含まれます。

●査証（ビザ）について●

米国の大学・語学学校で就学する場合、査証（ビザ）申請が必要です。奨励留学イリノイ大学(IEI)への留学では、F1ビザを取得します。(株)甲南学園サービスセンターのビザ申請サポートにお申込み頂きます（申請費用は雑費に含まれています）。

プログラム概要

大学附属の語学学校Intensive English Institute (IEI) で学びます。

●Intensive English Program●

(レベル数:6段階、授業時間数:20時間/週 15週プログラム)

* リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング、文法を受講。

* クラスアクティビティは、映画鑑賞、フィールドトリップ、小人数グループでのディスカッションやロールプレイ、プロジェクト学習などバラエティに富む。

* レベル500以上になると上記に加えて、選択科目もある。

例) iBT対策、Culture and Community、発音上級、文法上級

* 希望すれば誰でも、Conversation Partner制度を利用でき、会話練習が可能。

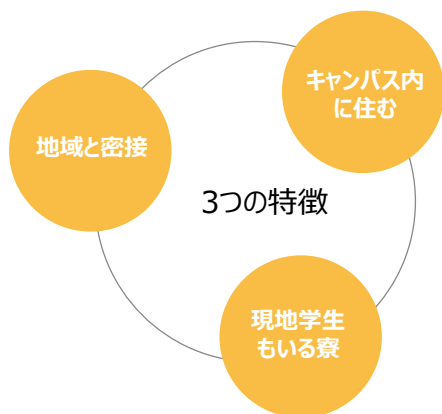
* 課外授業や国際交流イベントも多数開催されるため、様々な角度から英語やアメリカ文化を学ぶことができる。

* 教授の許可があれば、専門教育科目（学部授業）の聴講も可能。本場の学部授業がどんなものか体験できる貴重な機会。

帰国学生の声

- ◎ 8月中旬に出発して12月中旬に帰ってこれるので、就活をほかの学生とほぼ同じ時期から開始することができた。
- ◎ ホストファミリーと、生涯の友達になることができた。今でも facebook で時々やりとりをしている。

特色・魅力



セントラルワシントン大学は、1年を4学期に分けるクォーター制の4年制総合大学。キャンパスは広大で、映画館などの設備や17棟の学内寮が点在します。小川に野生のアライグマが来たり、現地の学生が初対面でも笑顔で向こうから挨拶してくれたり、のどかでアットホームな大学です。

地元の幼稚園や動物園などでのアクティビティーや、Talk Timeというネイティブとの会話特訓など楽しみながら学が工夫が用意されています。

【オンキャンパス寮】

現地学生と同じ大学構内の寮に滞在し、通学できるのが大きな特徴。生活で困ったことがあれば相談アワーを利用できます。さらに授業も一般校舎を使うため、現地学生と接するチャンスも多くあります。

アメリカ・ワシントン州 エレンズバーグ セントラルワシントン大学 Central Washington University

奨励



シアトルから車で約2時間のアットホームな町にある落ち着いたキャンパスは、絶好の留学環境。平日はしっかり勉強し、週末はシアトルでショッピングやグルメを楽しんだり、大自然の中でのアウトドアスポーツもできる。地域住民との交流も盛んで様々なイベントに参加でき、街ぐるみで留学生を見守ってくれる。



費用について

総額概算：前期 約230万円
後期 約255万円
* \$1=120円で計算

内訳	前期	後期
授業料	約80万円	約80万円
住宅関連費用	約81万円	約104万円
往復渡航費	約25万円	約25万円
海外旅行保険	約12万円	約12万円
雑費	約32万円	約34万円

● 査証 (ビザ) について ●

米国の大学・語学学校で就学する場合、査証 (ビザ) 申請が必要です。セントラルワシントン大学への留学では、F1ビザを取得します。(株)甲南学園サービスセンターのビザ申請サポートにお申込み頂きます (申請費用は雑費に含まれています)。

帰国学生の声

- ◎ 空港に着いた瞬間に治安の良さを感じたくらい、のんびりとして本当に良い街だった。夜も学内パトロールがあり安心だった。
- ◎ ESLのクラスのサウジアラビア人の友人が、週末にはシアトルや山など様々なところへ連れて行ってくれた。

プログラム概要

語学プログラムUESL (University English as a Second Language)で学びます。

● ESL Program ●

[レベル数:5段階、授業時間数:20時間/週 2クォーター受講]

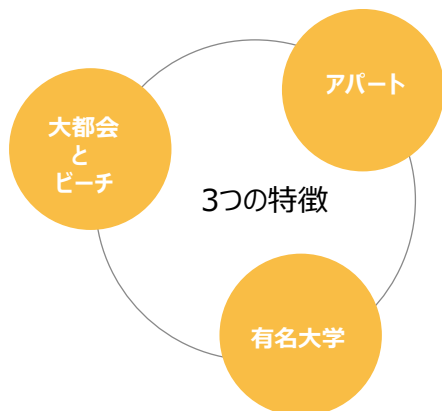
- * Reading、Writing、Grammar、Oral Communication (聴く・話す)、選択授業を受講。
- * 選択授業ではレベルに応じて取りたい授業を選択。選択授業の例：TOEFL 対策、TOEIC対策、映画、会話特訓 など。

● 学部授業の受講 ●

[基本的には一般教養科目を履修]

- * 学部授業の聴講体験あり。
- * レベル5を修了し、UESL Programの担当者から推薦書をもたらえた場合は、次のクォーターに学部授業の受講が可能。但し、追加の授業料が必要。例) Psychology、Health Education、Music、History、Social Studies、Economicsなど。

特色・魅力

アメリカ・カリフォルニア州
サンディエゴ

奨励

カリフォルニア大学
サンディエゴ校

University of California San Diego

世界的に有名なカリフォルニア大学群のうちの1校・ノーベル賞受賞者を輩出するトップ大学。社会人留学や短期留学の学生も多く在籍しています。**条件を満たせばボランティアコースも受講可能。**

授業はUCSD-Extensionで行われますが、Conversation Partnerや交流パーティーなどで、現地学生との交流ができます。キャンパスから徒歩5分のビーチでは、授業後にサーフィンやジョギングする学生も。

【アパート】

世界中からの留学生とのアパート生活は、帰国学生からも「ほかでは味わえない貴重な体験」と高評価。互いに料理をふるまうなどして自炊生活を工夫する学生もいます。リビングやキッチンが共有で、寝室は1人部屋か2人部屋の希望を申請できます。



UCSDのあるサンディエゴのビーチリゾートエリア、ラ・ホーヤは治安も良く、ビバリーヒルズと並ぶ高級住宅地。中心地には近代的な高層ビルが立ち並び、周辺にも多くの観光スポットがある。LAまで車で2時間。メキシコ国境にも近く、アメリカに留学しながらスペイン語や中南米文化にも触れられる。



費用について

総額概算：12週 約190万円
16週 約240万円
20週 約290万円
* \$1=120円で計算

内訳	12週	16週	20週
授業料	約63万円	約77万円	約100万円
住宅 関連費用	約60万円	約86万円	約100万円
往復 渡航費	約24万円	約24万円	約24万円
海外旅行 保険	約8万円	約10万円	約16万円
雑費	約35万円	約43万円	約50万円

●査証（ビザ）について●

米国の大学・語学学校で就学する場合、査証（ビザ）申請が必要です。UCSD Extensionへの留学では、F1ビザを取得します。
(株)甲南学園サービスセンターのビザ申請サポートにお申込み頂きます（申請費用は雑費に含まれています）。

帰国学生の声

- ◎ 治安も良く、生活に不便を感じることもなかった。初めての自炊は苦労したが、親に感謝するようになった。
- ◎ 休暇中にラスベガスやメキシコに旅行し、世界が広がった。もっと話せるようになりたいと思うようになった。

プログラム概要

大学付属の語学学校UCSD Extensionで学びます。

12週間コース：4週+8週、16週間コース：8週+8週、20週間コース：8週+8週+4週
レベル条件が合えば現地でも+2週間のAcademic English受講可（一部対象外コースあり）。

●4週プログラム●

[レベル：人数次第、授業時間数：20時間/週]

Academic Englishを受講。流暢さと正確さに重点を置きながら基礎スキルやディスカッション・プレゼンテーション力を強化。

※レベル次第ではConversation and Fluencyを受講（課外授業や外部講演者の講義、Conversation Leaderとの発音練習等。開講されないこともある。）

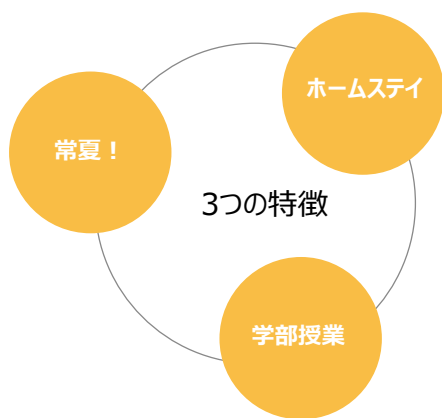
●8週プログラム●

[レベル：12段階、授業時間数：20または25時間/週]

※以下いずれかを選択（条件次第で変更可。ただし変更手数料と差額の支払いが必要。）

- ◆Communication and Culture…日常会話の理解とスピーキング力向上をめざす。アメリカ社会や文化について学習。
- ◆Intensive Academic…現地大学への進学や将来キャリアにおいて英語を活用する事をめざす。スピーキング力とライティング力を特に強化。
- ◆Intensive Business English ※人数・レベル等により開講されないこともある。
…プレゼンテーション、ビジネストピックに基づくプロジェクト、ディベート、ディスカッション等。
- ◆Academic Advancement through Service-Learning ※同上
…授業に組み込まれたボランティアを通してアメリカ文化や社会問題を実践的に学ぶ。

特色・魅力



リーワードコミュニティカレッジはハワイ大学システムの中の1校。社会人留学やハワイ大学への編入コースの学生なども多い学校です。

ハワイならではの気候の良さや期間の長さ、語学レベルによっては**専門教育科目の履修が可能である**ことが特徴です。また、専門教育科目だけでなく語学の授業もすべてカレッジ内の一般校舎で行います。

【ホームステイ】

日本人スタッフもいる現地エージェントがホストファミリーをマッチング・手配してくれます。(1日2食つき) 通学はバスがほとんどです。

費用について

総額概算：A・Bコース約350万円
Cコース約190万円

* \$ 1=120円で計算

内訳	A・Bコース	Cコース
授業料	約106万円	約52万円
住宅関連費用	約175万円	約85万円
往復渡航費	約27万円	約27万円
海外旅行保険	約20万円	約10万円
雑費	約22万円	約16万円

●査証（ビザ）について●

米国の大学・語学学校で就学する場合、査証（ビザ）申請が必要です。リーワードコミュニティカレッジへの留学では、F1ビザを取得します。(株)甲南学園サービスセンターのビザ申請サポートにお申込み頂きます（申請費用は雑費に含まれています）。

帰国学生の声

- ◎ 甲南大学では2018年度より協定校に加わりました！
- ◎ 沢山の帰国生の声が集まるのを楽しみにしています！

アメリカ・ハワイ州 リーワード コミュニティカレッジ Leeward Community College

奨励



ハワイ オアフ島、ホノルル郊外のパールハーバー北部に位置し、華やかな観光地とは違ったロコ（ハワイアンローカルの人々）の生活が味わえる。専門教育科目ではハワイアンスタディやトロピカルアグリカルチャーなどのハワイならではの専攻が充実。

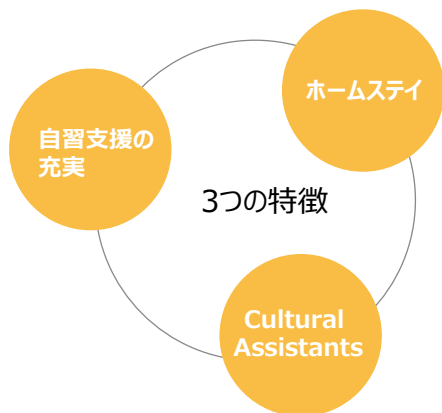


プログラム概要

English as Language Institute (ELI) コース・専門教育科目を受講

- Aコース●
8週×2セッションのELI（英語）コース+1セメスター（秋学期）専門教育科目
- Bコース●
2セメスター（秋・春学期）専門教育科目
- Cコース●
1セメスター（秋学期）専門教育科目
- ◆ ELIコース（レベル数：4段階 授業時間数：18時間/週）
TOEFL iBT50-54はレベル3, 55-60はレベル4に配属。
- ◆ 専門教育科目 各学期、最低12単位以上受講。
* それを超えて履修する場合は1単位につき \$ 340が必要。
* 履修前に教員の履修アドバイスを受けることができる。
* 履修科目の中にはCertificateを取得できるものもある(ただし取得には必要単位数があり、留学期間内に相当の単位数を履修できるものに限られる)。

特色・魅力



ビクトリア大学は、中規模ながら教育水準の高さが世界中で評価を受け、日本の提携校も多い大学です。留学期間が短いこともあり、費用は奨励留学協定校の中で最も安いですが、**短期間の中でも、自習支援施設やサービスを最大限活用し、集中的に語学力を伸ばすことができます。**無料の発音矯正講座や1対1のwritingサポートなどにも参加可能。また、ビーチリゾートやウォータースポーツなどで現地学生と交流するチャンスも多く、**学生ボランティア（通称CA）がサポート**してくれます。

【ホームステイ】

ホームステイ先の多くはバス通学エリアです。また、ビクトリアには教育従事者が多く住んでおり、英語の教員等がホストファミリーになることもあります。

カナダ・バンクーバー島
ビクトリア大学

奨励

University of Victoria



バンクーバー島の南端の、海に囲まれた都市ビクトリアに位置し、年間を通じた温暖な気候と公園のような美しいキャンパスで有名。ビクトリアの街もその美しさからガーデンシティと呼ばれる。キャンパスは市街地から車で15分。バンクーバーへは飛行機のほかフェリーでも行ける。



費用について

総額概算：12週 約120万円
21週 約185万円
*C\$1=100円で計算

内訳		
	12週	21週
授業料	約41万円	約77万円
住宅関連費用	約32万円	約52万円
往復渡航費	約30万円	約30万円
海外旅行保険	約8万円	約12万円
雑費	約9万円	約14万円

●査証（ビザ）について●

半年以下でカナダの大学・語学学校で就学する場合、査証（ビザ）申請は不要です。奨励留学ビクトリア大学へ留学する場合、カナダへの電子渡航認証（eTA）をオンラインで申請します。

帰国学生の声

- ◎ 経済的な理由でUVicを選んだが、期間が短くても英語力を伸ばすことは十分可能だと実感した。
- ◎ はじめは日本人が多くがっかりしたが、お互い刺激し合い、困った時は相談し合いながら学ぶことができた。

プログラム概要

大学付属のEnglish Language Centre（ELC）で学びます。

●12週コース●

12-Week Intensive Englishを受講

（レベル数：6段階、授業時間数22時間+8時間の自由参加型補強学習/週）

各レベル必修科目を週18時間（午前または午後）と選択科目を週4時間受講。

レベルにより選択科目の選択肢が異なる。発音・ボキャブラリー・文法等、基礎を固めながら各スキルを総合的に伸ばしていく。

Intermediate 以上では各自の目的に合わせて以下のどちらかのプログラムを選択。

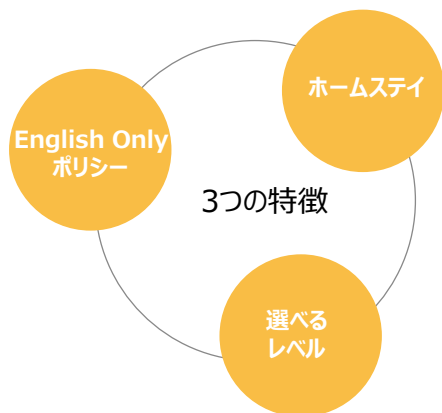
- General Program: 日常生活やビジネスで使う英語力を中心に伸ばす。
- Academic Program: 海外の大学進学・長期留学を目指す。

●21週コース●

12-Week Intensive Englishを受講後、ELPI-Summerを受講

ELPI-Summer（レベル数：5段階、授業時間数25時間/週）は、月曜日～木曜日の午後15:00～18:00にGeneral English、金曜日にAcademic writingの授業を受講する

特色・魅力



世界大学ランキングでもトップクラスのUBCでは、キャンパスを歩くだけで多種多様な国籍・民族の学生に出会えます。日本人にも人気の大学ですが、**ELI内は母国語禁止のポリシーが徹底されています。**海に隣接した広大なキャンパスは、ダウンタウンからバスで約30分と生活にも便利な立地。大学内の博物館には地域の小学生なども訪れます。また、ここでも**学生ボランティア（CA）がカヌーや小旅行など様々なアクティビティを企画してくれ、友人づくりのきっかけになります。**

【ホームステイ】

UBCも多くの学生はバスで通学します。時期・人数・現地の状況等により、到着後学内寮に2日程度宿泊することがあります。

カナダ・バンクーバー

ブリティッシュ
コロンビア大学

The University of British Columbia

奨励



カナダ第3の都市で、近代的でありながら美しい自然に囲まれた海岸沿いの多民族都市バンクーバー。アメリカへもアクセス良好で、世界の中でも最も住みやすい場所のひとつとも言われている。海や山へも気軽に行けるため、登山・スキー・セーリングなどアウトドアには事欠かない。暖流のおかげで都市部では雪はほとんど降らない。



費用について

総額概算：24週 約230万円
16週 約165万円
*C\$ 1=100円で計算

内訳	24週		16週	
	24週	16週	24週	16週
授業料	約110万円	約73万円		
住宅関連費用	約65万円	約43万円		
往復渡航費	約24万円	約24万円		
海外旅行保険	約12万円	約10万円		
雑費	約19万円	約15万円		

ホームステイには1日3食が含まれます。

●査証（ビザ）について●

半年以下でカナダの大学・語学学校で就学する場合、査証（ビザ）申請は不要です。UBCへ留学する場合、カナダへの電子渡航認証（eTA）をオリエンテーション内で申請します。

プログラム概要

大学附属の語学学校English Language Institute（ELI）で学びます。

（レベル数：7段階、授業時間数：28時間/週 週1日自由参加型ワークショップあり）
8週または16週のプログラムの組み合わせで構成。

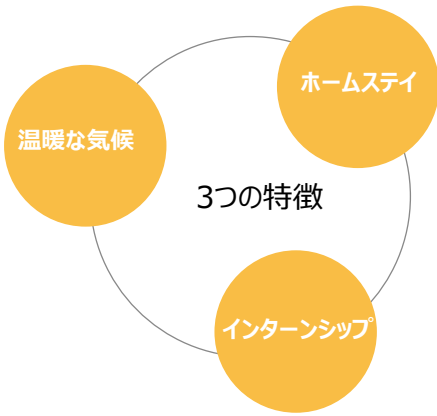
- ◆VEEP：基本的にはこのコースを履修。午前中に基本技能を学習し、午後にはUBCキャンパスまたはバンクーバーの街でインタビューやプロジェクト学習を実施。レベル400以上に該当すれば、以下コース選択が可能。（16週のコース）
- ◆EAP：大学進学コース。2コース（Academic Reading & Writing, Academic Speaking & Listening）を学習。2コースとも、同一レベルで受講。

そのほか、日本語を学ぶUBC本科生の授業にボランティアで参加できる場合もある。（ただし学期・教員により実施されない場合あり）

帰国学生の声

- ◎ 学校はEnglish Only Policyなので、いろいろな国の留学生たちと英語でコミュニケーションを取ることができた。
- ◎ ホストファミリーと過ごしたサンクスギビングデーは、日本ではできない経験。感謝の気持ちを伝える大切さを知った。

特色・魅力



世界大学ランキングでも常にトップクラスで、国内で最も有名で大規模な名門大学。川沿いの緑溢れる広大なキャンパスには、テニスコートや芝生、カフェなどがゆったりと点在し、放課後も様々な時間の過ごし方ができます。ICTEも大規模で有名。クラス数が多く、なるべく学生の国籍がばらつくよう配慮されます。**自由時間には様々なクラブやアクティビティーに参加が可能。**また、Cコースは**12月帰国なので就活スケジュールにも比較的合いやすい**コースです。
(就活スケジュールはキャリアセンターで要確認)

【ホームステイ】

300以上あるホームステイ先から学生に合う家庭をマッチングしてくれます。

費用について

総額概算：Bコース 約215万円
Cコース 約165万円
*C\$1=100円で計算

内訳	Bコース	Cコース
授業料	約86万円	約65万円
住宅関連費用	約60万円	約40万円
往復渡航費	約17万円	約17万円
海外旅行保険	約12万円	約10万円
雑費 (現地保険込)	約40万円	約33万円

ホームステイには平日1日2食、週末1日3食が含まれます。

●査証(ビザ)について●

オーストラリアの大学・語学学校で就学する場合、査証(ビザ)申請が必要です。ICTE-UQへの留学では(株)甲南学園サービスセンターのビザ申請サポートにお申込み頂きます(申請費用は雑費に含まれています)。

帰国学生の声

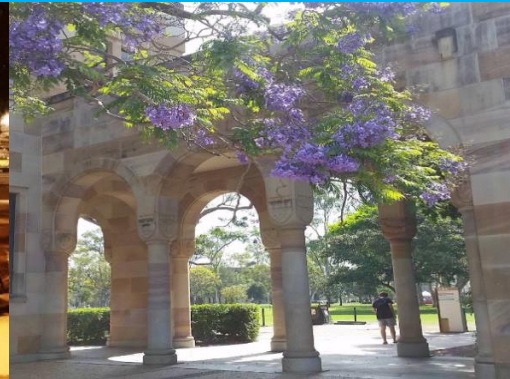
- ◎ 訛りがあるのではないかと不安だったが、標準的な英語の先生が多く気にならなかった。
- ◎ とにかく常に天気が良くて快適だった。街のあちこちにBBQ場があったり、週末には友達やホストファミリーと色んな場所へ出かけた。

オーストラリア・ブリスベン

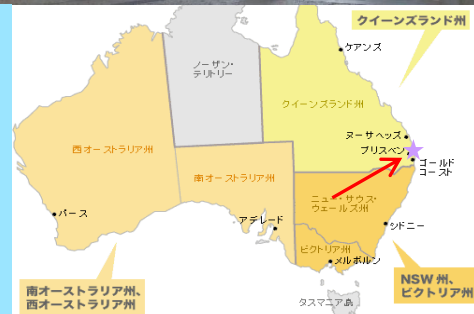
奨励

クイーンズランド大学

The University of Queensland



オーストラリア第3の都市ブリスベンに位置し、1年を通して晴天が多く温暖で過ごしやすい。市内にはブリスベン川が流れ、緑や公園など自然が多い一方、中心部にはビルや様々なショップが立ち並ぶ。ケアンズやゴールドコーストなどのビーチリゾートも近く、マリンスポーツも楽しめる。日本との時差はわずか1時間。また、親日かつフレンドリーな国柄も魅力のひとつ。



プログラム概要

大学付属のInstitute of Continuing&TESOL Education (ICTE)で学びます。

●General English●

[レベル数:7段階、授業時間数:20時間/週]

話す・聞く力と流暢さに重点を置きながら、4技能を習得する。

Bコース：20週、Cコース：15週

レベル5以上では目的に合わせて以下の中からコースを選択することも可能(現地手続き)。

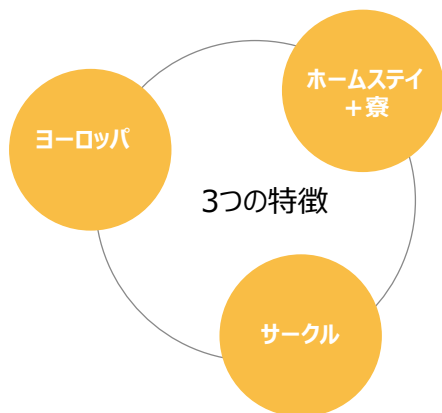
◆ビジネスコミュニケーション英語、アカデミック英語 ※定員あり。

◇よくある質問「オーストラリアは訛りが強いと聞きます。英語学習にマイナスになりませんか？」
クイーンズランド大学は英語教授法の研究でも有名な大学であり、教育レベルは非常に高く、「帰国生からの声」にもあるとおり授業で学ぶ英語は標準的な英語です。教員も資格を持つプロフェッショナルです。また、空き時間に自習ができるe-learningシステムも使い放題で英語学習環境は整っています。

もちろん日常生活や街で出会う人々、ホストファミリーでアクセントの強い方には多く出会うかも知れませんが、欧米でも今や移民社会も多く、多国籍な市民・ホストファミリー・クラスメイトに囲まれる環境はオーストラリア以外でもありえます。こういったことも参考にしてみてください。

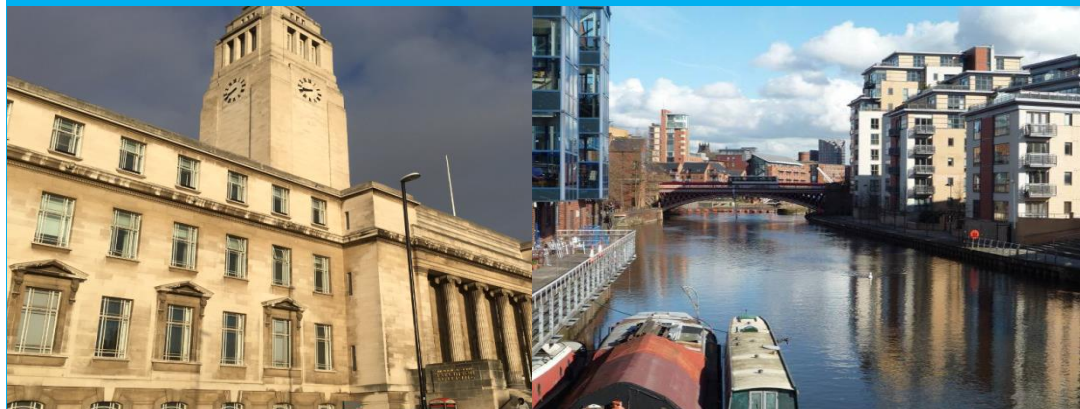
(日本で関西に来る留学生のことを考えてみるとイメージしやすいかもしれません。)

特色・魅力

イギリス・リーズ
リーズ大学

奨励

The University of Leeds



ロンドンから鉄道で2時間半のリーズは、21世紀のヨーロッパの中心都市とも呼ばれる国際都市で、学生の街でもあり、若者の文化の発信地。一方で大自然も広がり、都市の楽しさとイギリスの田園風景の美しさの両方が味わえる。キャンパスは市内中心部から徒歩10分。留学生活を通してイギリスだけでなくヨーロッパ各国の歴史や文化を肌身で感じることができる。



24時間利用可能なPCルームといった最先端の学習施設のほか、学内には美容院や衣料店、大規模なスポーツセンターなどもあり学生割引もあります。

150以上のサークルや部活があり、積極的に参加することで現地学生と仲良くなることができます。

また、リーズ大学で日本語を学ぶ学生が、毎年甲南大学に留学しています。留学前に親しくなって現地で再会したり、帰国後に交流する学生もいます。

【ホームステイ+寮】

奨励留学で唯一、どちらも体験できます。

前半はホストファミリーと毎日会話することで英語力を鍛えつつ現地事情やイギリス文化を教えてもらえ、慣れて来た頃に寮での自由度の高い生活をスタートすることができます。

費用について

総額概算：A・Cコース 約195万円
B・Dコース 約215万円
* £1=160円で計算

内訳	A・C	B・D
授業料	約87万円	約107万円
住宅関連費用	約73万円	約73万円
往復渡航費	約18万円	約18万円
海外旅行保険	約12万円	約12万円
雑費 (現地保険込)	約5万円	約5万円

ホームステイには平日1日2食、週末1日3食、寮には週12食が含まれます。
(自炊寮もあり)

寮は自炊か食事付きか選べます。寮の洗濯（有料）や、日用品の購入など住宅関連費用にも個人差があります。

プログラム概要

大学付属のLanguage Centre (LC) で学びます。

● A・Cコース General English Programme ●

日常会話に必要なリスニング・リーディング・ライティング・スピーキングスキルの習得、イギリス文化や社会の理解を目指す。近隣への小旅行や博物館見学なども組み込まれている。

● B・Dコース Academic English for Undergraduate Studies Pre-sessional ●

日常英語に加え、大学の学部レベルに必要なアカデミック英語や、文献リサーチ方法、リサーチペーパー・エッセイ等のライティングスキルの習得をめざす。

(レベル：人数次第、授業時間数：21時間/週)

※いずれも学習相談ができるチューター制度有。日本語を学習する学生があてられることも。

※B・Dコースは日本人割合が低い。

◇スピーキング力をもっと身に付けたい人は参加してみよう！

* Conversation Club 毎週火曜日16時～@ the Language Zone

* Clubs & Societies (クラブやサークル等多数あります)

<https://www.luu.org.uk/clubs-and-societies/>

帰国学生の声

- ◎ Japanese Society (サークル) で、日本に興味のある現地学生とすぐに仲良くなれた。甲南に留学予定なので再会が楽しみ。
- ◎ 休暇を利用してヨーロッパ8カ国を旅行したことは貴重な経験。イギリスでの留学ならではの機会でした。